



議会だより



やったあ プールで水あそび

(にちなん保育園)

おもな内容

6月定例会	2
一般質問(3人)	4
公聴会	12
どっこい、この町に生きる…	16

目南病院に新副院長着任

経営の基盤整備と診療体制の充実に向けて

おもな補正予算

林道新設改良事業
林道船通山線落石による
法面対策測量設計



1,700万円

畜産振興対策事業
畜産センター機能向上
施設整備補助金



1,906万円

山村振興一般対策事務
フラワーセンター大温室給水工事



200万円

防災対策事業
避難所整備事業補助金



200万円

非常備消防管理運営事務
鳥取県ポンプ操法大会出場手当等



151万円

**(目南病院事業会計)
有形固定資産購入費**
超音波診断装置(エコー)の更新



1,400万円

地域医療総合確保基金から1,445万円の繰り入れを全会一致で可決しました。

新副院長は、^{さとう とおる}佐藤 徹 医師 (57才)

佐藤副院長を迎えて、
常勤の内科医師が4名
となり、診療体制も充実
します。



辞令交付式

日南町議会の6月定例会は、6月19日から6月22日までの4日間の会期で開かれました。初日に3人の議員が一般質問を行い執行部の所信を問いました。執行部から提案された平成30年度補正予算、条例の改正など全議案を原案のとおり可決しました。また最終日には、国への意見書と決議を可決しました。

議決したおもなもの

平成29年度繰越明許費の報告

- 繰越額 11億2,800万円
- (おもな内訳)
 - 社会体育館建設 6億3,690万円
 - 林業費 1億7,001万円
 - 土木費 1億6,660万円
 - 災害復旧費 1億9,177万円

※繰越明許費とは
町の子算は、会計年度内に使用することになっていますが、特別の事情によって工事等が遅れ、年度内に完了することができない場合に、例外として翌年度に繰り越して経費の支出ができることになっています。

条例の一部改正

・日南町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
(放課後児童支援員の基礎資格について、「教諭となる資格を有する者」を「教育職員免許法第4条に規定する免許状を有する者」に改正。「5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であつて、町長が適当と認めたる者」を新設)

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦
白根早苗氏(茶屋)

財産の取得

中型路線バス 1台
契約相手方 根雨自動車整備(株)
取得価格 21,049,200円

町政のここが聞きたい



山本芳昭議員

問 今後の国土調査事業計画は

答 「第7次国土調査事業十箇年計画」による推進を図る

問 昨年度は一般財源を投じて認証遅延の解消に努められたと思うが、今後の事業計画は

答 航空レーザ測量との関連性については、現地立会を行わず、筆界案を作成、確認する方法で効率を図る。本年夏頃に実施される見込み。国土交通省が本年5月にマニュアルを制定したので、活用方法等について関係機関と調整を図り積極的に取り組む。

問 町が行う国土調査事業と県が行う林業・木材産業強化総合対策事業(航空レーザ測量業務)との関連性は

答 町長

問 国土調査事業

答 増原町長

前年度大幅に予算が減額されたが、本年度の状況は。

要望額 1億2,204万円
配分額 4,880万円 (1億6,730万円)
配分率 40% (18%)
河上・茶屋・菅沢・新屋・神戸上・福塚地区で地籍調査を実施する。

問 丸山教育長の所信は

答 丸山教育長

本年教育長として再任され5年目を迎えられるが、これまでの成果と課題。そして、今後日南町の教育をどのように導かれるのか所信を。

答 日南町の教育環境は充実している。更に、町民の皆さんが喜んで学んでいただけたら、生涯学び続けられる学習機会の提供と環境整備を行っていききたい。



地区説明会(神戸上地区)

問 町長

答 町長

前年度からの認証検査を進め、16ブロック31地区の国への認証請求と法務局送付の年度内完了を目標に、遅延の解消を図って予算配分を確保しつつ、次期「第7次国土調査事業十箇年計画」による推進を図る。

問 エナジーにちなん

答 町長

今年度は、引き続き、農林業研修生の指導を行い、今年度中に定款を変更、名称を一般財団法人日南町産業振興センターとし、次年度からは、新たに、にちなん中国山地林業アカデミーの運営を行う予定。

問 決算審査において多額の未収金の問題になったが、町営住宅の未収金は保証人に請求しているか

答 財原建設課長

現年度滞納は減っているが、過年度分は進んでいない。高額滞納者には住宅退去を前提に協議をしている。保証人への説明をしたことはあるが、代納には至っていない。

問 町営住宅の管理

答 町長

住宅診断による現状調査を実施し、劣化度を評価した修繕計画を策定して、適正な管理を行う。

町政のここが聞きたい



大西 保議員

問 火災予防の対策を検討されたのか

答 野焼き等への留意点の周知徹底などを図っていく



畦畔の野焼き

問 防災対策の取り組み

答 増原町長

6月26日に火災が発生し、死亡という大変不幸な出来事が発生した。今回の出来事から今後の防災・予防・再発防止について、何らかの対策を検討されたのか。

不幸な事故を防止するために、防火の啓発などについて、広域消防や自衛消防と連携を図ると共に、農作業上の止むを得ない野焼き等への留意点の周知徹底などを行っていく。特に空気が乾燥している時期には、消防団が巡回し、予防放送や防災無線等呼びかける。

問 「第三次日南町環境基本計画」の策定はどのようにしたのか

答 町長

平成25年度の排出量5,335tに対して、平成28年度は5,208tで2・38%の削減率となっている。

平成28年7月に策定された「日南町地球温暖化防止実行計画」で、基準年の平成25年に対して、平成28年までの削減率はいくらか。

問 環境月間の取り組みの内容は

答 町長

6月は環境月間であるが、環境立町を目指す日南町として、どのような取り組みをするのか。

環境月間の取り組みとして、鳥取県、鳥取県警、鳥取県産業資源循環協会と合同で不法投棄監視パトロールを予定している。

本年度は、6月19日に実施予定である。

問 企業進出を断念した会社の状況はどうなったのか

答 町長

企業に今の状況を確認したところ、西脇市の工場と賃貸契約を交わし、建物の改修計画を行っているところである。又、液体ガラスの活用について、試験や検証を行っている。今後は、設備機器の発注を行い一日も早い操業を目指していることである。

日南町の木材利用も可能性を秘めており、今後の事業展開について、引き続き注視していきたい。

問 計画策定にあたり、主に数値目標の設定について見直しをした。目標設定については、各課の担当からの意見を参考に策定している。

答 町長

昨年8月より震地内への企業進出へ向けた説明会及び協議が進められたが、本年1月に企業側から進出を断念し、兵庫県西脇市で事業展開するとの説明文書が自治会に配布された。その後、6か月経過しているが、今の状況はどうなっているのか。

6月定例会審議結果

○可決・同意した議案

補正予算	その他
一般会計補正予算(第2号)	人権擁護委員候補者の推薦にあたり議会の意見を求めることについて
国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	財産の取得について(中型路線バス購入)
介護保険特別会計補正予算(第1号)	発議
病院事業会計補正予算(第1号)	精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書提出について
一般会計補正予算(第3号)	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について
条例の一部改正	介護保険制度に対する意見書提出について
日南町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	2025年国際博覧会の誘致に関する決議 ※【賛否の分かれたもの】P.9の討論をご覧ください。

一般質問と答

町政のここが聞きたい

問 日南町に所有者不明の土地が存在するのか



久代安敏議員

答 課税保留として、13件、13.3ヘクタールある

問 日南町に所有者不明の土地は存在するのか

答 増原町長
所有者不明の土地は、必要に応じて所有者の調査を行った際にはじめて判明するものである。住民課が調査し、把握している所有者不明土地は、課税となる土地や建物の所有者である。調査に基づき課税保留として処理しているのは13件で、面積は13.3ha。

問 所有者不明の固定資産税は

答 町長
収入未済43件512万円のうち、相続放棄などで所有者不明として処理したものは、6件で21万8千円。

問 今の国会で成立した「森林経営管理法」

答 町長
この法律を制定するにあたり林業者の意向調査が行われているが、本法にどのように反映されたのか。
平成27年に林野庁が実施した「森林資源の循環利用に関する意識・意向調査」の結果が、法案の国会提出の際の背景説明資料となっている。

問 森林環境譲与税の見通しと日南町の「新しい森林経営管理システム」は

答 町長
今後、町有林管理経営審議会にも諮るなどし、新たな森林経営管理システムを策定する。

年度	見込み額
平成31年度～33年度	2,600万円
平成34年度～36年度	3,900万円
平成37年度～40年度	5,500万円
平成41年度～44年度	7,200万円
平成45年度以降	8,800万円

問 今年7月を目途に開設予定の障がい者グループホームと高齢者有料老人ホームの進捗状況は

答 町長
グループホーム虹の郷の利用者様ご家族様と日南福祉会のご理解をいただき、7月22日にあさひの郷への転居を準備していただいている。障がい者グループホームは、施設の準備が整い次第開設予定。有料老人ホームについては、運営されるNPO法人が協議中。

問 鳥根原発の稼働と住民の安全対策

答 町長
「鳥取県西部国土強靱化地域計画」では、原発事故への対応には一切記述がない。鳥根原発の2号機の再稼働や3号機の稼働申請が行われようとしている中で、人命保護をどうすすめるのか。

問 歴史的な南北首脳会談と米朝首脳会談

答 町長
防災無線で『北朝鮮からミサイルが発射された模様です』は、あつてはならない。先に開かれた南北首脳会談と米朝首脳会談について見解を問う。

答 町長
各首脳会談の結果は朝鮮半島の完全非核化、朝鮮戦争の終結と平和体制の構築を約束するもので意義は大きい。今後具体的な交渉が早期に進められ実現に向かうことを期待する。

もっとくわしく 質疑応答

問 世帯用アパート(6戸)について

答 町長
町内の事業所の雇用に対してのみ入居できるのか
運営を行う事業者の考えによるが、町内の事業所に勤務する者を中心。

問 利率2.5%の融資額5,200万円を20年掛けて返済するのは妥当か

答 町長
建築費の収支が20年で完済できる。また、運営は30年から35年で、そこが利益幅になる。

問 利息が1,230万円かかるが、20年は長過ぎる

答 町長
公営住宅の起債は25年から30年かかる。20年は妥当。
問 つなぎ資金2,000万円2回の説明を
答 町長
建築に必要な材料費を考慮。3回に分けて借入を行う。

問 建築経費と家賃は

答 町長
建築経費5,240万円
家賃5万2千円の予定。



建築中の世帯用アパート

●事件の請求(議案訂正)

事業予算額の積算及び事業内容の説明が不十分であることから、平成30年度一般会計予算の企業支援対策事業の負担金補助及び交付金である959千円を提出予算から減額。併せて、平成31年度50年度の債務負担行為12,300千円を減額。

問 大温室の使用頻度は

答 町長
また、上水と自然水の使い分け説明を
使用頻度はあると思う。また、大温室までは、高齢者の健康増進の観点からも整備を行い、下の温室に関しては、山水を使っている。

問 工事内容を詳しく

答 町長
町道からの引出を考慮して、売店の上水道は頭になかった。
問 現場に行き確認し、説明を
答 町長
工事内容を精査し、経費削減で工事発注する。

「2025年国際博覧会の誘致に関する決議」

2025年日本万国博覧会誘致委員会から鳥取県町村議会議長会を通して協力依頼を受け、万博誘致の機運を醸成するために決議しました。

2025年国際博覧会の誘致に関する決議

2025年に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会を大阪・関西が一体となって開催することは、新たな産業や観光のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて圏域の存在感を示す絶好の機会となり、極めて大きな意義がある。

また、このような国際博覧会の開催は、圏域全体のみならず、鳥取県における産業振興や観光文化交流等を促進するとともに、本県を訪れる外国人観光客の増加による経済波及効果が大きく期待できる。

よって、本町議会としても、大阪・関西における国際博覧会の開催を支持するとともに、誘致実現に向けた国内の機運醸成など、2025年日本万国博覧会誘致委員会の誘致活動を支援し、協力する。

決議の討論

反対 久代安敏議員

ゆめしま、370ヘクタールの内100ヘクタールが万博用地、70ヘクタールが総合型リゾート用地との情報もあり、大阪市民、府民の理解が十分でない。産業や技術の発展などの万博理念に反対ではないが、現時点での要望は必要ない。

賛成 恵比奈礼子議員

色々と心配事はあるが、関西圏域と交流を持つ鳥取県は、県議会においても、十分に検討されており、先の地震で被災した大阪の復興気運の醸成に繋がると考えられるので要望すべきだ。

決議の賛否内訳

結果	(欠員)	山本芳昭	坪倉勝幸	荒木博	近藤仁志	恵比奈礼子	久代安敏	大西保	足羽覚	古都勝人	福田稔	村上正広
可決	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-

※村上正広議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。ただし、採決で賛否が同数となった場合は「議長裁決」という形で賛否表明をします。

6月定例会で下記の意見書を採択し、衆参両議長及び内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました (要旨掲載)

精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書

厚生労働省は、平成16年の精神保健福祉の改革ビジョンにおいて「入院医療から地域生活中心へ」という基本方針を提示してきた。

一方、障がい者の交通運賃割引について、身体障がい者の外部障がい者は昭和25年、内部障がい者は平成2年、知的障がい者は平成3年より実施されているが、精神障がい者の場合は、その公共交通機関利用のニーズは他障害と何ら変わるものではないにもかかわらず、未だJR等の交通運賃割引制度から除外されたままになっている。

平成26年2月に日本は国連障害者権利条約の締結国となり、平成28年4月には障害者差別解消法が施行された。

このような中で、精神障がい者を福祉制度の対象から除外することは、日本国憲法、障害者基本法、障害者差別解消法の理念・条文に照らしても不合理であり、このような差別的な状態を早急に解消し、精神障がい者の負担を減らし社会参加を促すべきである。

よって、日南町議会は、精神障がい者にも他の障がい者と同等の交通運賃割引制度の適用を強く求めるものである。

地方財政の充実・強化を求める意見書

1. 増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること。
2. 急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。
3. 地方交付税における「トップランナー方式」の廃止・縮小を含めた検討を行うこと。
4. 公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業の対象事業の拡充と十分な期間の確保を行うこと。人口急減・急増自治体の行財政運営に支障が生じることがないように、地方交付税算定のあり方を引き続き検討すること。
5. 地域間の財源偏在性の是正のため、税源移譲を行うなど、抜本的な解決策の協議を進めること。
6. 各種税制の廃止、減税を検討する際には、自治体財政運営に支障が生じることがないように対応を図ること。
7. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、小規模自治体に配慮した対策を講じること。
8. 地方交付税原資の確保については、臨時財政対策債に過度に依存しないものとし、対象国税4税に対する法定率の引き上げを行うこと。
9. 自治体の基金残高を、地方財政計画や地方交付税に反映させないこと。

介護保険制度に対する意見書

1. 訪問介護事業の特別地域加算を通所介護事業においても対象とすること。
2. 特別地域加算については介護報酬の15%をさらに引き上げること。
3. 訪問介護事業に加え通所介護事業も特別地域加算の対象とする場合において増加する被保険者の保険料は公費負担とすること。
4. 制度改正について事業主体となる市町村との連携を図り地域の実態に合ったものとするため事業者の意見を十分取り入れること。

日南町体育館建築
(教育課)

外構工事及び駐車場について説明を受け協議した。



※文化センター下側駐車場 170台

石見東太陽光発電所管理状況
(住民課)

発電所の管理状況及び発電量について調査した。適正に管理され発電量も良好であった。



新石見小水力発電所水路工事復旧工事状況
(住民課)

水路復旧工事について現地調査を行った。計画では9月発電予定(その後、10月中に変更)であるが一日も早く工事を完成して発電開始するよう要請した。



教育委員との意見交換会
(教育課)



シアトル派遣は、効果が大きい全員ではなく参加意志のある者を行かせるべき。町内でもできる国際交流もあるのでは。

- ・国際交流のあり方
 - ・中学生議会の開催
 - ・子ども達のあいさつ
- など意見交換を行った。

あいさつをしない子どもがいると聞く。先生も地域の人も、こちらからあいさつをする事が大切。

民間活用住宅整備等事業
(企画課)

公募に対し1社のみ応募があった事、残土については早急に撤去するとの報告を受け協議した。

道の駅にちなん日野川の郷の運営体制
(企画課)

出荷者協議会との話し合い、決算状況等について報告を受け協議した。

- 事業内容**
- ・3ルート500m
 - ・工事費5,828千円
 - ・工事基本方針
 - ①土地の形状変更最小限にすること
 - ②スギへの負荷を最小限にすること
 - ③危険木等は除去すること

- 調査場所**
旧木下家の裏山(阿毘縁)
- 調査目的**
- ・林業成長産業化モデル事業における「木育」教育の目的に相応しい場所か。
 - ・維持管理費がかららない設計になっているか。
 - ・人(障がい者)の通行にやさしいルートになっているか。

全員協議会

4月24日

樹齢200年の森遊歩道整備事業についての現地調査



遊歩道予定地の調査



旧木下家の裏山

総面積:21,629.55㎡
周 囲:734.41m
(遊歩道はこの内径550mとする)

経済福祉常任委員会

にちなん中国山地林業アカデミー
(農林課)

来年4月に開校予定の林業アカデミーの備品整備や研修課程、研修生募集など今後の予定等について説明を受けた。



整備された研修室

意欲ある農業者支援事業
(農林課)

来年3月に期限切れとなる意欲ある農業者支援条例について、これまでの実績や取り組みについて説明を受け、来年度以後の事業継続に向けて改善点などを協議した。



事業で導入された堆肥散布機

自治協議会との意見交換会 「議員のなり手不足の解決方法は」

なり手確保へ！ 議員報酬増額検討

公聴会とは

この制度は、委員会における重要案件について、住民はどのように考えているか直接意見を聞き、審議に反映させるため設けられた制度です。公述人の選定にあたっては、一般公募を行い2名の参加がありました。

全員協議会では、適正な議員報酬の検討にあたって審議の参考とするため、平成30年7月4日に公聴会を開催しました。

委員会としても貴重な意見としてとらえ、引き続き審議を続けていきます。

報酬を30万円位まで上げるべき

■福田英寿さん(霞)



かつて、議員定数を16人から8人にして、そのかわり俸給を増額すべきと提案しました。その分もっと町民の目線で働いて欲しい。町が違うのに、西部、中部の報酬はすべて横並びである。これはおかしいと思う。議会と執行部は両輪、報酬的に執行部と議会のタイヤの大きさは同じであるべき。

報酬を最低30万円にし若者の育成が急務

■島川和美さん(中石見)



議会はチェックしているのか

自治協

それもあるが、議会の活動が理解されていない。たとえば、地籍調査の進捗が遅れていることについて、一般の社会通念では責任者と担当者に重い責任があるのに、責任の所在が明らかにされておらず誰も責任をとっていない。議会のチェック機能が十分に働いていないのではという思いが、議会の魅力が失う一因になっているのと思う。

議会

地籍調査の件は、昨年9月の決算審査で指摘した。担当者の責任もあると、意見書には厳しく書いた。指摘をふまえた上で、事務の停滞解消に向け、室を設置された。議会はすべきことはしていると思う。

前回4人に町議出馬を打診したが、全員ノーと言われた。一人の奥さんが20万円ちょっとでは食べていけないという現実的な言葉があった。12人の議員定数を8人の定数にしたらおよそ30万円の報酬になる。日南町が先陣を切って若者を出すべき。

質疑応答

問 議員報酬と定数についてご意見を

答 福田さん

現在は、一定の定数は必要。定数減は考えていない。

答 島川さん

生活に必要な30万円子育てと両立を。市議会との報酬格差が大きい。少数精鋭主義で若い人に働いて貰いたい。

問 報酬が上がれば、町政に関心が持てるのか

答 島川さん

4人は関心があった。

問 議会が示す報酬額、25万円に対する意見を

答 福田さん

25万円も30万円も町民からの意見は同じ。

問 年金が貰える世代に対して、報酬の増額をどう思われるか

答 福田さん

年金や別収入の有無に関係なく、あくまで、議員の仕事に対する報酬。

問 若者の育成について具体的な事柄はあるか

答 福田さん

個人の自由が行き過ぎていると思う。若者を元気にする方法は見いだせていない。

問 報酬を上げて、集中専門型の議員形態を望んでおられるが、多数参画型への考えはどうか

答 島川さん

報酬の確保と立候補者を推薦する体制も必要。社会の変動を追随しながら、30代後半、40代を是非出した。

答 福田さん

報酬イコール立候補者が増えるとは思っていない。将来的には参画型の時代がくるかも。

問 議員の実態は兼業議員が多い。30万円にして、議員専業か

答 福田さん

理想は課長クラスと同等の報酬があれば良いと思う。30万円以上は議員の仕事をして欲しい。

問 選挙で出ても保証は4年。選挙の厳しさ等も踏まえ、定数と報酬の関係について

答 福田さん

4年のリスクを考えると報酬は高くても良い。定数と報酬の関係は分けて考えるべき。

問 島川さん

12人を8人にするのは報酬額予算を確保するため。

このままではいけない

自治協

住民からは、議会に魅力がないとの声を聞く。若年層の政治への無関心など社会的風潮ではないか。またわれわれも後継者の育成を行ってこなかった。自治協としても、このままではいけないという危機感から、この場を設定していただいた。

議会

各地域での自治会長やまち協の会長のなり手もいない。役を受ける負担感ばかりで、地域を良くしていくのだという気概がないように思う。その延長線上に議員のなり手がいないということではないか。

議員も後継者を見つけよう

自治協

議員報酬アップだけでは難しい。会社を辞めてまで議員立候補は難しい。地域住民も日頃から人選を考えるべき。議員も後継者を見つけるべき。

議会

議員が後継者を探すのは筋が違うと思う。

議員にできることは

自治協

今、議会に出て何ができるかと町民が言う。

議会

議員に出たら何かできるということを訴えたい。オールマイティではできないが、得意分野はしっかりできる。

まちをよくしたいという思いから

議会

議員に出るのは、このまちを良くしたいという思いをどれだけ貫けるか。自分の生活を守りながら、常に町政の問題・国政の問題を注視しなければならぬ。選挙活動資金もいる。なり手不足は全国的な状況。議会に魅力がないのではなく、住民が暮らしに追われて、このまちをどうすればよいのかを見つけにくい状況と思う。

自治協

同感である。自分も会長になって特に地域の発展を願うようになった。

地域活動に参加を

自治協

議員も地域の会合に参加して、町政の情報を提供してほしい。活動にも協力してほしい。そういう議員の姿を見て自分もなりたいと思えるのでは。

議会

できるだけ協力している。地域の声を町長に伝えるのは議員だからこそ。一般質問で執行部を質し、対応が変わった。

自治協

議員の役割は、執行部の監視と住民の生活のための立案である。しっかりと頑張るべき。

議会

次世代の候補者へ声かけをお願いします。議会では、住民グループから申し出があれば、意見交換会を行います。事務局へお申し込み下さい。

第3回臨時会

平成30年5月8日

議決したおもなもの

税条例等の一部改正

- 固定資産税等
 - 平成30年度の評価替えに際し、「固定資産税（土地）」「不動産取得税の特例税率等」を3年間延長。中小企業の一定の設備投資について、固定資産税を免除する3年間の時限的な特例措置の創設。
 - たばこ税（H30・10・1）
 - 税率を3段階で引き上げ（国と地方をあわせて1本あたり1円ずつ計3円）加熱たばこについても、課税方式の見直しを実施。
 - 所得税課税の見直し（H33・1・1）
 - 「給与所得控除・公的年金等控除」を10万円引き下げ、基礎控除を10万円引き上げる。
 - 国保税の基礎課税額の限度額引き上げ
 - 現行：54万円↓58万円

財産の取得
除雪ドーザ（5t級）
契約相手方
（株）原商 米子支店
契約金額
9,180,000円

一般会計補正予算

道路維持管理事業
補正額 13,000千円

教育委員会委員の任命同意

中島 義人氏（生山）
任期 平成30年5月14日から4年間

監査委員の選任同意

藤森 高善氏（霞）
任期 平成30年5月11日から4年間

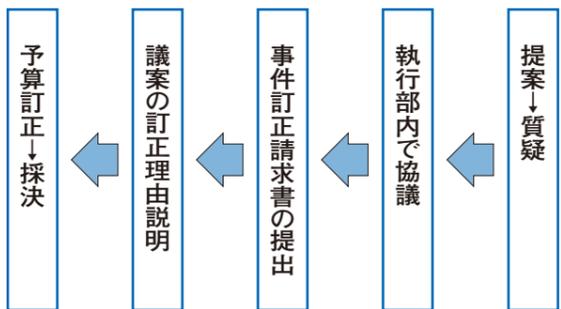
選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

日南町選挙管理委員会委員に山本智恵氏（生山）、大塚武史氏（下石見）、前田純子氏（霞）、山脇良円氏（印賀）、補充員に中村秀人氏（三吉）、稲田洋子氏（笠木）、生田寿美子氏（下阿昆縁）、前田浩史氏（生山）とする。

議会 あらがると 事件の訂正

執行部は、会議の議題となった事件を訂正する事ができる。
6月定例会に於いて、平成30年度一般会計補正予算の企業支援対策事業費959千円を執行部の積算及び事業内容の説明が不十分である事から事件を訂正された。

今回の事件訂正の流れ



議会活動報告

- (4月)
 - 4日 議会広報常任委員会
 - 6日 全員協議会
 - 7日 特定非営利活動法人あかり広場記念式典
 - 10日 日南小中学校入学式
 - 議会広報常任委員会
 - 12～13日 議員研修（4人参加）／滋賀県
 - 18日 日南町体育館改築工事安全祈願祭
 - 議会広報常任委員会
 - 19日 議員研修（1人参加）／滋賀県
 - 21日 海外派遣事業報告会
 - 24日 中心地域整備に関する調査特別委員会
 - 全員協議会
- (5月)
 - 8日 臨時議会
 - 全員協議会
 - 議会運営委員会
 - 14～15日 議員研修（2人参加）／岡山県
 - 19日 日南小学校運動会
 - 23日 全員協議会
 - 総務教育常任委員会
 - 25日 日南町商工会総会
- (6月)
 - 27～30日 モンゴル交流派遣（2人参加）／モンゴル中央県
 - 5日 日南町建設業協会との協議会
 - 10日 西部消防協会消防ポンプ操法大会
 - 11日 議会運営委員会
 - 14日 日南町同和教育推進協議会総会
 - 19日 6月定例会本会議
 - 20日 総務教育常任委員会
 - 22日 経済福祉常任委員会
 - 6月定例会本会議
 - 議会広報常任委員会
 - 地方公会計制度に基づく財務研修会
 - 29日 中心地域整備に関する調査特別委員会

モンゴル視察報告

平成30年度新規事業の医療・福祉現場等で、不足する人材確保策として、鳥取県と関係の深いモンゴルからの受け入れ、外国人就労の可能性を探る。



1. 視察団メンバー

団長・増原町長、内田県議会議員、平岡日南病院長、福田商工会副会長、議会より坪倉議員、大西議員ら総勢11人

2. 視察日程及び訪問先

平成30年5月27日から30日（4日間）

5月28日

◎「中央県庁」

中央県庁官房長官と面会し、ゾーンモド町との友好交流や人材派遣について協力要請をした。
官房長官からゾーンモド町との交流や人材交流が進展することを期待するとの返答をいただいた。

◎「ゾーンモド町」役場

町長、副町長、議会秘書官等と面会し、ゾーンモド町長より、ゾーンモド町と日南町との友好交流により文化、人的交流がスタートすることに大きな喜びを感じるとの言葉があった。

両町長により「友好交流に関する覚書」が取り交わされた。

◎「日本大使館」

視察目的の報告及び意見交換を行い、林参事官より、モンゴルは、鉱物産産が盛んであるが、今後、農業や介護・医療分野に力を入れていくため、日本での技能実習制度を期待しているとのこと。

大使館としても協力を惜しまないので、色々と相談

下さいと言葉を頂いた。

5月29日

◎「フムーン総合学校」

幼児から高校生まで通う総合学校の中に、2年前から高校生の選択科目として日本語の授業がある。

鳥取県モンゴル中央県親善協会が運営する日本語学級と共に日本語教育が進んでいる。

生徒たちは日本のアニメや文化に大変興味があり、来日についても強い希望があった。

◎「技能実習生送り出し機関」ベウラ有有限会社

社長のアリマンサル氏は、21年前に国際交流員として来日していた。日本語教室も運営し、日本の高校へ留学生を10年で300人を

送っている。

8月には、青森の介護施設へ介護技能実習生3人の送り出しが決定している。

来日・技能実習希望者（30人参加）との意見交換では、日本で働きたいと強く思う人が多くいた。



技能実習希望者と意見交換会

3. 考察

・日本での技能実習（働きたい）希望者が多いと分かった。日本の制度を理解した上で、実習内容のミスマッチにならないように留意が必要である。
・日本側の受け入れ機関の選定が急務である。
・町内事業所のニーズの把握と今後の事業推進計画の作成が必要である。

道どっこい、この町に生きる草

第二の人生を、日南町で挑戦



川口 美保子さん（生山）
みほこ

移住を決められたきっかけは

NHKで日南町の移住相談員の方が、空き家バンクについて紹介される番組を見て、生まれ育った広島から出て第三の人生を送るのもいいなと思うとつたけ、これもありじやと早速相談にきました。広島から出る言うたら二人の姉から、「おいで」と言われたけどそれじゃ駄目で、誰もいない、すぐには帰れない鳥取だからと決めました。

5月21日に引越し住民票を出し、警察にも行って、米子まで迷子になって往復3時間、人に聞いても地名は分からんし、交差点の名前も場所も見当がつかん、お蔭で181号線だけは分かった。

第一、第二の人生は

短大を出て家電量販店に就職、コーセー化粧品に中途採用されて三越の一階で勤務したのが第一の人生で。

同級生の主人と結婚、出産、子育て。18年前にサラリーマンの主人を交通事故で亡くしたんよ。そ

の頃、自分で喫茶店を2店やりながら商工会の勤めで介護ヘルパー2級を取得、3年後に介護福祉士、続いてケアマネージャーの資格を取って居宅サービスの会社で、居宅介護の仕事も今年の4月までやってたのが第二の人生。そして日南町で楽しく第三の人生に挑戦。

上石見の駅で好み焼きを始められたきっかけは

もっと働きたいと役場に相談したらこの上石見駅があるんよ、どうかねと言われた。管理費も広島の半分位で出来そうやし、ええかと決めた、ほんじゃ何したらええかと思つたら日南町には粉系がないけえどうかねと言われ、粉系イイわ。

お好み焼きなら喫茶店を出した経験もあるし、こつて見えても広島には弟子がおるんよ。定休日を毎週木曜日に決めたので、ドライブをして道を覚えなあかんナ。

空き家バンクに興味があって日南町に来られたのでは

色々物件を見て回ったけど、田舎の家は広いし、荷物が多し。あいつても写真が飾ってあったり、座が落ちてる物件も結構あった。庭は広く草ぼうぼう。今の団地を出て店の近くに越したいけど物件がない。

古民家は好きだけど、修繕が必要なのに家賃が高いと思う。バアバアが2・3年行つて様子をみてくると言つて来たけど空き家バンクに関してはよう勤めんと思つた。お店宣伝しときましようか

宣伝は工工ケエ。忙しいのは嫌や。第三の人生はボチボチ行きます。



編集後記

山土地域（福万米）では、蛍での地域おこしに取り組みがなされていきます。評判も良く、多くの人が見学に来られているとのこと、嬉しい限りです。これからも皆で、自然を大切にしましょう。

「つりがね草」を「蛍ぶくろ草」となぜ呼ぶのか、以前より気にかかっていました。先日、ラジオで知りました。昔は、子供達が袋に蛍を入れ、縁側に並べ、光のリズムを楽しんだそうです。そんな、遊びを教えようにも、近所に子供がいない。寂しいことです。

煙草を愛好する人も分煙と言われ、玄関前で赤い蛍となつていましたが、電子タバコの出現で姿を消しました。健康に注意しましょう。

古都 記

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 恵比奈礼子 |
| 副委員長 | 足羽 覚 |
| 委員 | 近藤 仁志 |
| 委員 | 大西 保 |
| 委員 | 古都 勝人 |
| 委員 | 福田 稔 |